

第37回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第37回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(-2)となった。
- ・今後4月から6月にかけての見通しは(22)で、回復の動きが広がりつつある。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成31年3月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H30. 12)	見通し (H31. 1-3)	B 現況 (H31. 3)	(B-A) 前回現況 との対比	見通し (H31. 4-6)	現況 (H30. 3)
総 合	96	-3	-9	-2	1	22	-1
農業	10	0	-10	-20	-20	0	-10
建設業	11	-18	0	18	36	27	36
製造業	11	9	27	9	0	36	20
卸売・小売業	24	-28	-24	-13	16	25	-13
観光業	10	27	-27	-30	-57	20	0
飲食業	8	-20	-10	13	33	13	-33
サービス業	22	18	-5	9	-9	23	0

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話等による聴き取り
- 調査内容 (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
(2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
「DI」(Diffusion Index、デフージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

武雄市営業部商工観光課

〒843-8639

武雄市武雄町大字昭和12番地10

TEL:0954-23-9183 FAX:0954-23-3861

E-MAIL: syoukoukankou@city.takeo.lg.jp